



箸墓古墳と三輪山

ヤマト王権の発展

ヤマト王権は、日本列島を広く支配した大王(天皇)を中心として、奈良盆地南東部の纏向地域で成立しました。まさしく「やまとは国のまほろば(やまとは国の中でもっともすぐれている場所)」です。

当時の権力者たちが採用した墳墓のかたちも前方後円墳で、そこでは遺体埋葬の他に祭祀も行われていました。現在は樹木に覆われている古墳ですが、つくられた当初は、葺石が斜面に整然と並べられていました。権力者たちは、墳墓をより巨大に、立派にすることで自分の権力を示そうとしたとされています。

三輪山麓の纏向の地にある箸墓古墳は全長276mと巨大で、この地域で最初につくられた本格的な前方後円墳です。『日本書紀』によると、箸墓古墳は大物主神の妻であった倭迹迹日百襲姫命の墓とされ、昼は人、夜は神が造つたと記されています。

三輪山周辺には崇神天皇陵(行燈山古墳)、景行天皇陵(渋谷向山古墳)など、当時の天皇にゆかりのある場所が残っています。

大直禰子神社(若宮社)

大物主神の子である大田田根子命を祀っています。『日本書紀』によると、崇神天皇の時代に疫病が蔓延し、大田田根子命はそれを鎮めるために大物主神を祀った祭主であるとあります。元は、大神神社の神宮寺であった大御輪寺でしたが、明治時代の神仏分離令により、若宮社となりました。



「第12回全国高校生歴史フォーラム」研究レポート募集中!

奈良県と奈良大学は、歴史や地理、史跡、文化財、文学、人物などをテーマにした研究レポートを募集し、優秀作品を披露する「全国高校生歴史フォーラム」を開催します。応募方法など詳しくは下記へ。

問 第12回全国高校生歴史フォーラム実行委員会(奈良大学)
 ☎0742-41-9588

第12回全国高校生歴史フォーラム 検索



スタンプラリー開催のお知らせ

福岡県の沖ノ島が世界文化遺産に登録されたことを契機に、奈良県と福岡県が連携して古代をテーマにしたスタンプラリーを開催。記紀・万葉関連グッズが当たるチャンス!詳しくは下記へ。

問 福岡県観光パスポート事務局
 ☎092-451-0606



よかとこパス 検索